



2005.7.20

| | | |
|-------|---------------------------------------|------------|
| 研究情報 | スタークスの新品種育成・・・・・・・・・・・・ | (古屋挙幸) · 1 |
| 研究の成果 | シュッコンカスミソウ切り花の輸送方式と輸送温度が花持ちに及ぼす影響・・・・ | (宮前治加) · 2 |
| | 「紀の輝」の秋まき春どり作型における播種適期・・・・・・・・ | (川西孝秀) · 3 |
| トピックス | スイートピー育成品種の現地試作と評価について・・・・・・・・ | (村上豪完) · 4 |
| お知らせ | 平成17年度人事異動・・・・・・・・ | 4 |



スタークス新品種‘紀州ファインホワイト’（左）と‘紀州ファインイエロー’（右）

研究情報

スタークスの新品種育成 !!

本県のスタークス栽培品種は100以上あり、それらのほとんどは種苗メーカーで育成されたものです。他産地との差別化を図り、ブランド化を推進するためには、本県独自の品種（オリジナル品種）の作出・活用が必要です。

一方、生産現場では、スタークス萎凋細菌病による被害が増大し、収量が減少していることから、抵抗性品種の育成が求められています。

そこで、オリジナル品種の育成に取り組み写真に示す2品種を育成し、2005年3月に種苗法に基づく品種登録に出願しました。

‘紀州ファインホワイト’は、がくの色が純白に近い白色の品種で、‘紀州ファインイエロー’は、がくの色がレモン色の品種です。両品種とも、花房が大きく、ボリューム感があり、萎凋細菌病に強い品種です。

今回育成した2品種については、種苗のパテント料を安くできるなど低コスト化が図れると考えています。今後は、関係機関と協議しながら、種苗の供給体制を早急に確立し、来年度から本格的に生産を開始していく予定です。

（育種部 古屋 挙幸）